

中部縦貫道 高山ICの国道41号上に橋桁が架る!

～秋の高山祭り前に4橋の内、本線橋(上り線)1橋を架橋～

9/24～9/30に41号高山国府BPと中部縦貫道高山IC～高山西ICの夜間通行止(20時～翌6時)を行い中部縦貫本線橋(上り線)とDランプ橋の架設を行いました。また、同区間のリフレッシュ工事も行いました。



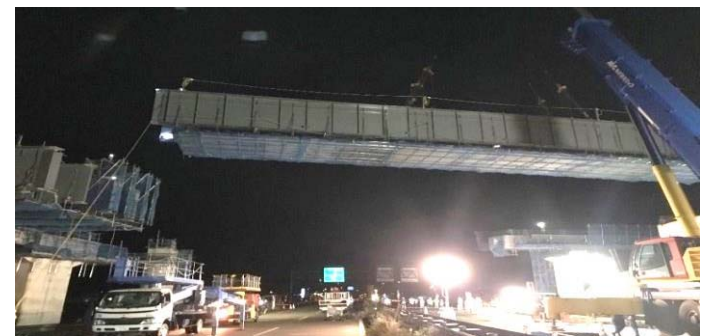
①チェーンベースで地組(架設するサイズに組立)



②多軸台車で、架設位置まで移動



③多軸台車から200tクレーンで桁を吊り上げる



④吊り上げた桁を旋回し、慎重に据え付ける



⑤41号上空の本線橋(上り線)



⑥高山祭りのお迎え幕



⑦中部縦貫上のDランプ橋も夜間架設



⑧中部縦貫上のDランプ橋

また、11月には、中部縦貫本線橋(下り線)、12月には、Dランプ橋とBランプ橋を同様な通行止め夜間架設を行う予定です。ご理解とご協力をお願いします。

飛騨高山高校の学生が工事現場で研修

～中部縦貫自動車道 高山IC橋～

10/7(月)中部縦貫道 高山IC及び 国道41号高山国府BPを跨ぐ橋梁架設工事において、飛騨高山高校1年生(24名)が現場研修を行いました。(ボルト締め体験、木組模型ブリッジやCIM(三次元設計)の活用による完成後の橋梁状況を疑似体験)



①中部縦貫の概要説明



②見学ステージから架設現場を見学



③橋梁高力ボルト締め体験



④模型ブリッジの組み立て



⑤CIM(3Dモデル)の視聴



⑥地層(支持層)の学習



⑦監理技術者(学科OB)からの熱い言葉



⑧集合写真と生徒からのお礼挨拶

なお、研修会主催は(一社)高山建設業協会、協力は施工者(横河Br、JFEエッジ、日車、大山土木)です。

【生徒のコメント】

- ・一晩に橋桁が架かる時間や本数の質問がありました。
- ・こんな授業なら毎日でも受りたい!
- ・CIM等の新技術が活用されており感動した。(刺激になった。)



中部縦貫道の見学



高山IC橋脚上



上野トンネル坑口

地元中学生が今年も当事務所へ 職場体験学習に来ました

高山市立丹生川中学校の生徒2人（2年生）が、9月25日、26日の2日間、当事務所で職場体験学習を行いました。短い時間でしたが、中部縦貫道や除雪機械の見学、災害対策機械の操作、道路維持作業の体験、用地取得事務の勉強などを体験してもらいました。



除雪機械の見学



国土交通省



国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所



災害対策機械の操作体験



用地取得事務を勉強



除草作業



陥没箇所の穴埋め

道路維持作業体験

～ 橋梁点検における新技術の積極的活用に向けて～ 橋梁点検講習会を開催

令和元年9月18日に飛騨地域の地方自治体職員を対象として“**効率的な点検**” 積極的な“**点検支援技術活用**”を目的に橋梁点検講習会を開催しました。

従来は橋梁点検士等が“近接目視”を基本に点検してきましたが、ドローンなどの“**点検支援技術**”が活用可能となったものです。

講習会には、岐阜県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村の職員など28名が参加し、効率的な点検を目指しました。

飛行型ロボット(ドローン)に搭載した点検用カメラによる点検支援技術



飛行型ロボット本体の説明



飛行型ロボットによる点検状況

溝橋の点検に全天球型カメラの活用による点検支援技術



自治体は職員による直営点検も実施していることから、自撮り棒に設置した全天球型カメラによる溝橋等の点検には有効的活用

飛騨高山高校の3年生生徒によるバッタ捕獲調査 ～高山西にビオトープ“飛騨の森再生”における環境学習～

台風一過の令和元年10月16日(水)に飛騨高山高校環境科学科3年生6名が参加して、ビオトープ内において秋に見られるバッタの捕獲調査を行いました。

バッタの仲間は、昆虫の中でも生態や生息環境が比較的良好に知られています。海岸から高山まで幅広く生息していますが、中でも草地に生息する種が多く、種によって好む草原のタイプ(湿った場所、乾燥した場所、草丈が深い場所、地面が見える場所)が異なります。さらに樹林に適応した種もいることから、環境を指標する生物として、環境の状況の評価する材料として使われることがあります。

今回の学習では、バッタの採集方法を学ぶとともに、確認できたバッタを用いて現在のビオトープの草地や林縁部の環境状況について、簡単な評価を行いました。



【バッタの採集状況】



【バッタの採集状況】



【採集したバッタの分類】

約1時間調査し、採集したバッタを色や腹部先端の形状等で判別し、コバネイナゴやヒナバッタ、クルマバッタモドキなど4種81個体を確認しました。他にもコオロギの仲間を4種20個体確認しました。

ビオトープで見られるバッタ

平成16年11月の完成以降、平成17～21年と平成26年(整備後10年経過)に生物のモニタリング調査を行っています。調査により、ビオトープでは現在までに計11種のバッタが確認されています(日本国内では119種(平成18年時点)、岐阜県内では42種(平成30年時点)確認)。



コバネイナゴ



イナゴモドキ

バッタとは

バッタとは、バッタ目というグループのうちバッタ亜目に該当する昆虫です。同じバッタ目には他にコオロギ亜目(キリギリスやコオロギの仲間)があります。



クルマバッタモドキ



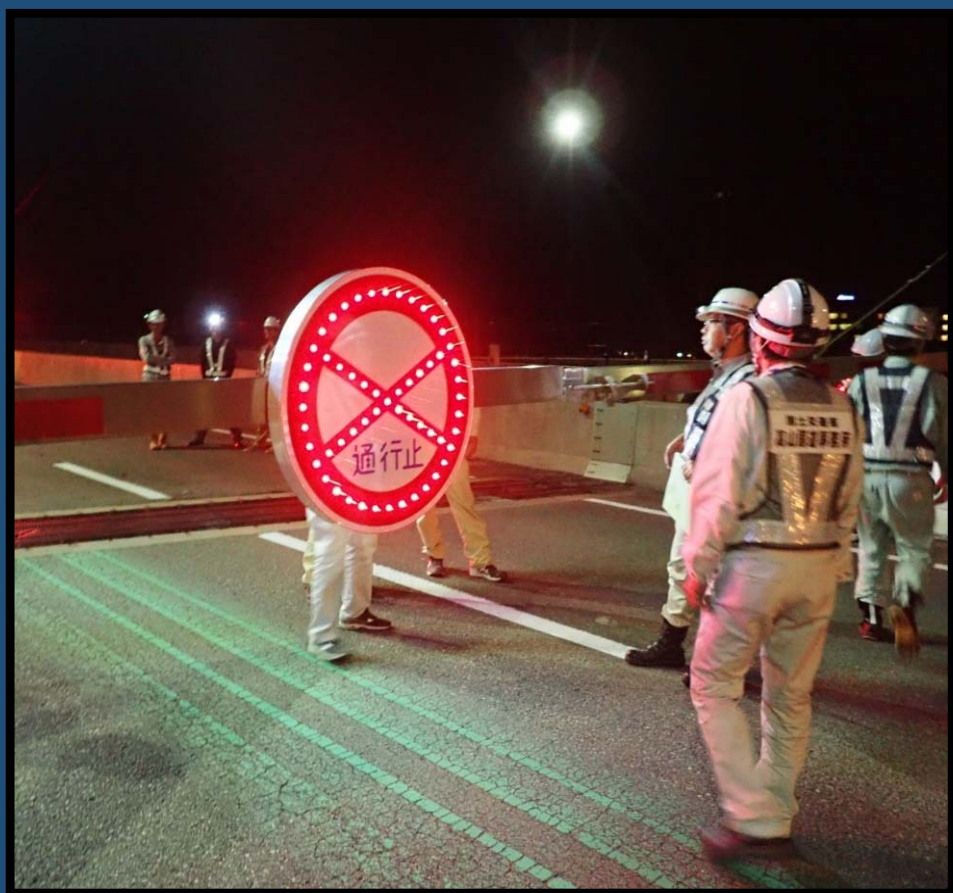
ヒナバッタ

確認種の中にはコバネイナゴのように草丈が比較的高い植物の葉上を好む種や、クルマバッタモドキのように草丈が低い草地や地上で生活する種など、生息環境が異なる多様な種が見られました。これはビオトープ内の草地は、草刈りを年1回しか実施せず草丈をある程度高くするエリアと、草刈りを年2回実施し草丈の成長を抑えるエリアに分けて管理していることから生じていると考えられ、草地の環境は管理内容に沿って比較的良好な状態が維持されていると評価できます。

またビオトープ内に生息するバッタの中ではコバネイナゴが多く見られる傾向があり、今回も確認種の中で最も多く(81個体中74個体)確認されました。コバネイナゴは主にイネ科植物を食べ、湿った草地を好みます。今回の確認個体数の傾向は過去の生徒達の調査(H27:100個体、H28:91個体、H29:未実施、H30:104個体)と同様であったことから、ビオトープの草地環境は比較的良好な状態で安定していると評価できます。

夜間遮断機 操作訓練実施

9 / 26



準備の
様子!

今回の訓練は5月に行った昼間訓練とは違い、夜間での遮断機の設置訓練を行うことで、昼間と変わらず迅速な通行規制が行えるよう、設置手順の習得を目指し、実施しました。

※台風19号による豪雨により10月13日0:00から吉ヶ原の雨量規制区間で実際に夜間の通行規制を行いました。このような非常事態に適切な対応をとるために夜間の遮断機操作訓練は行っています。



夜間通行止め

通行止め区間

- ・中部縦貫道「高山 IC～高山西 IC」
- ・41号高山国府バイパス「上切高架橋～金桶橋西交差点」

東海北陸道と高山市街地のアクセスは、中部縦貫と 158 をご利用できます。
 富山方面と高山市街地のアクセスは、471 89 をご利用できます。

通行止め実施日

| | | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-------|--------|---------|--------|
| 20時～翌6時 | 20時～翌6時 | 20時～翌6時 | 20時～翌6時 | 予備 | 予備 | 20時～翌6時 | 予備 |
| 5 (火) | 6 (水) | 7 (木) | 8 (金) | 9 (土) | 10 (日) | 11 (月) | 12 (火) |
| | | | | | | | 13 (水) |

令和元年 通行止め時間帯

11/5(火)～11/12(火)

各日20時～翌6時

注1. 12月9日～18日に同様の規制を予定しています。
 注2. 天候等により期間が延びる場合があります。



通行止めを行うのはなぜ??

国道上にクレーンを据え、国道上部に橋桁を架設するために**通行止め**が必要となります。**通行止め**を交通量が少ない夜間に行うことで、一般交通への影響を抑えます。
 ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

国土交通省 高山国道事務所 管理第一課
 TEL.0577-36-3823
 FAX.0577-36-3841
 国土交通省 高山国道事務所 高山維持出張所
 TEL.0577-34-3191
 FAX.0577-35-2468

道路情報

【日本道路交通情報センター】全国情報(音声案内)050-3369-6666
 岐阜情報(音声案内)050-3369-6621

【高山国道事務所HP】<http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/>
 【ひだ道ガイド】<http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/hidamichi/>

ひだ道ガイド



道路の異状を発見したら...

道路緊急ダイヤル
#9910
 (通話料無料・24時間受付)